

第2期 平成27年度 事業報告書

(平成27年9月1日～平成28年8月31日)

公益財団法人シマノ財団

奨学金事業については、平成27年4月から、国立大学等の理工系の学生に対し、平成27年度奨学金の給付を開始しておりますので、今年度も、引き続き給付を行い、また、平成28年度奨学金(給付期間:平成28年4月～平成29年3月)の奨学生の募集活動及び給付を開始することを念頭に、事業計画を策定致しました。

顕彰事業については、選考を行い、顕彰式を行うことを念頭に、事業計画を策定致しました。

公益目的事業1・・・奨学金事業

(1) 平成28年度の奨学生の募集

平成27年の年末から平成28年3月にかけて、当財団から各校へ、奨学生の募集要項を送付し、募集活動を行います。

平成28年の5月中旬を期限として、学校推薦を締め切り、各校経由で、学生の推薦書や成績証明書を、当財団宛に送付していただきます。

各校からの推薦書が揃った後、当財団にて選考委員会を行い、最終決定致します。

実績:4月28日に募集を締め切り、5月30日に選考委員会を開き、36名の奨学生を選考しました。

(2) 奨学金給付事業

当財団指定の各校からの学生35名程(附表1ご参照)に対し、1名あたり月額2.5万円とした上で、1年間給付致します。奨学金給付の予算としては、今年度は、10,150千円を計上致しました。

<奨学金給付予算>

33名×25,000円×7か月※=5,775,000円

35名×25,000円×5か月※=4,375,000円

※ 7か月 + 5か月 = 12か月

平成27年度奨学生(平成27年9月～平成28年3月)・・・7か月

平成28年度奨学生(平成28年4月～平成28年8月)・・・5か月

実績:6月30日に4~6月分を36名に対し、1名あたり月額2.5万円を給付しました。

また、奨学金として、10,275千円を計上致しました。

33名×25,000円×7か月※=5,775,000円

36名×25,000円×5か月※=4,500,000円

<奨学金の応募資格>

- ① 学業・人物共に優秀で学業・人物共に優秀で経済的理由により修学が困難とみられる学生
- ② 年一回の奨学生交流会等、当財団の行事に出席できる者
- ③ 他奨学金との併給は差しつかえない。ただし、合計額は一般の常識を超えない範囲内とする。

(3) 交流会

平成27年9月末に、平成27年度の奨学生の懇親交流会を予定しております。予算としては、学生への交通費も含めて、116万円を計上致しました。

<交流会予算>

学生への交通 660,000円(2万円×33名=66万円)

懇親交流会費 500,000円

合計 1,160,000円

実績:9月28日に株式会社シマノの本社工場において交流会を開催しました。当日は27名の奨学生が参加しました。

公益目的事業2・・・顕彰事業

(1) 顕彰事業の選考及び顕彰式

ものづくり技術において優れた成果を上げた中小企業者に対して顕彰金を交付することを予定しておりますが、今年度においては、募集があった会社又は個人の選考を行い、顕彰式を行う予定です。

- ① 対象者 : 堺市内に本社又は主たる事業所を有する中小企業者で、製造業を営む会社又は個人
- ② 対象者数 : 2社
- ③ 顕彰金額 : 1社50万円~100万円
- ④ 選考 : 平成27年9月~10月
- ⑤ 顕彰式 : 平成27年11月

実績:10月21日に選考委員会が開かれ、応募のあった5社から、ものづくり大賞1社、特別賞2社を選考し、11月18日に表彰しました。

行事予定

- (1) 平成27年9月末(予定) 奨学生懇親交流会開催
- (2) 平成27年11月 決算承認の理事会・評議員会開催、
顕彰事業の顕彰式
- (3) 平成28年2月初旬 奨学生募集要項の送付開始
- (4) 平成28年5月中旬 奨学生推薦書等の送付期限
- (5) 平成28年5月下旬 奨学生選考委員会開催
- (6) 平成28年6月末 奨学金給付開始
- (7) 平成28年8月 予算承認の理事会開催

行事实績

- (1) 平成27年9月28日 奨学生懇親交流会開催
- (2) 平成27年11月18日 決算承認の理事会・評議員会開催、
顕彰事業の顕彰式
- (3) 平成28年1月28日 奨学生募集要項の送付開始
- (4) 平成28年4月28日 奨学生推薦書等の送付期限
- (5) 平成28年5月30日 奨学生選考委員会開催
- (6) 平成28年6月30日 奨学金給付開始
- (7) 平成28年8月1日 ものづくり顕彰募集開始
- (8) 平成28年8月18日 予算承認の理事会開催